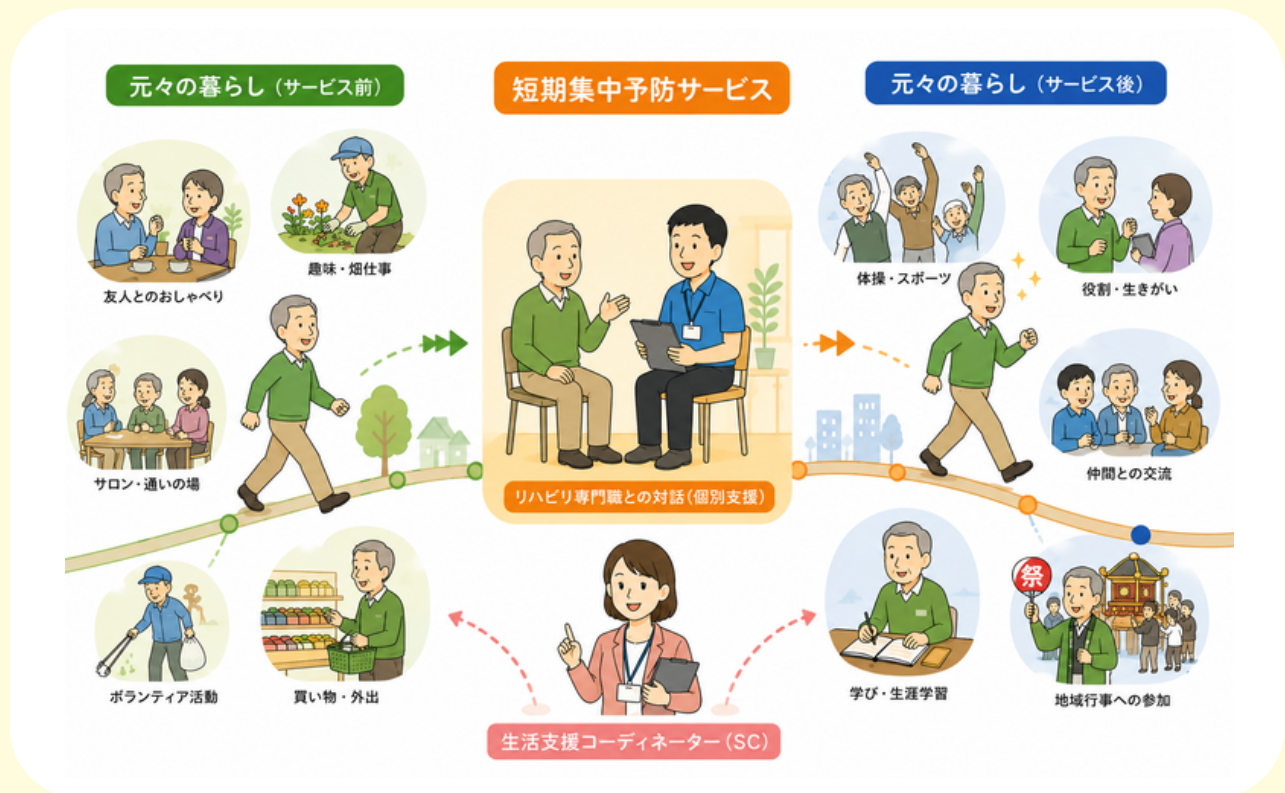


「ふつうに暮らせる しあわせ」をどう支えるか

埼玉県は第9期高齢者支援計画において、63市町村での短期集中予防サービスの実施を数値目標に掲げ、各市町村で短期集中予防サービスの導入が進んできました。一方、サービス終了後の受け皿づくりが課題として残ります。

そこで本研修は、元のふつうの暮らしへ戻す支援と、それを支える地域の資源づくりについて、リハビリテーション専門職と生活支援コーディネーターが、同じ話を同じ場で聴く機会となっています。関係者の皆さま、ぜひご参加ください。



講師

都築 晃 氏

藤田医科大学 保健衛生学部 リハビリテーション学科
療法士教育学 准教授、地域包括ケア中核センター長補佐

稲垣 圭亮 氏

藤田医科大学 地域包括ケア中核センター 理学療法士

✻ 2026年11月18日（水）19:00～21:00

✻ ウェスタ川越 多目的ホールA・B

※詳細は裏面をご参加ください。

✿ 対 象 ✿

埼玉県内の介護予防事業・地域ケア会議など市町村事業に興味がある理学療法士・作業療法士・言語聴覚士、第1層・第2層生活支援コーディネーター、市町村職員、地域包括支援センター職員など

✿ 定 員 ✿ 80名（先着順）



✿ 参加費 ✿ 無料



✿ 内 容 ✿

講義① 「ふつうの暮らしに戻す」とは何をすることか

実践報告 さまざまな立場を経験して見えた住民の望む暮らしへの支援のポイント

講義② 役立つものを見つける、探す、無ければ創り出す

対談・質疑

✿ お申込み ✿

下記フォームまたはQRコードよりお申込みください。

申込期限：令和8年11月13日（金） 12:00迄

<https://business.form-mailer.jp/fms/8666e789288931>



お問い合わせ

（一社）埼玉県リハビリテーション専門職協会（担当：駒井）

✉ info@sarp.or.jp

※本事業は埼玉県より（一社）埼玉県リハビリテーション専門職協会が委託を受け実施しています。